

令和7年度南島原市×西南学院大学連携10周年特別展



終戦 80年 戦争を辿る



「菊花紋章」
(西南学院史資料センター蔵)

会場.. 有馬キリシタン遺産記念館 企画展示室
Ⅰ期.. 8月9日(土) ~ 9月16日(火)
Ⅱ期.. 9月18日(木) ~ 10月26日(日)

※9月17日(水)は展示替えのため企画展示室のみ閉室



西南学院大学博物館
産官学連携事業



南島原市

西南学院大学

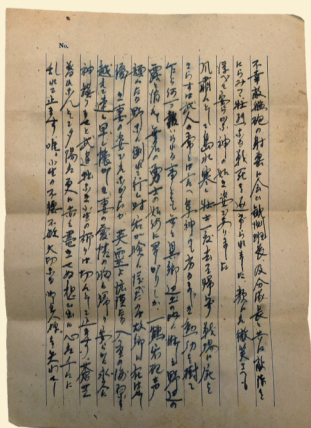
南島原市と西南学院大学博物館は平成27年（2015）より研究・教育に関する協定を結んでいます。令和7年（2025）で10周年を迎え、連携特別展は今回で9回目となります。また、本年は第二次世界大戦の終結から80年の節目の年です。本特別展では西南学院大学博物館と連携し、2期にわたり、「辿る」をテーマに「文字」と「教育」へ視点をあて、戦争について考えます。

I 期：文字で辿る

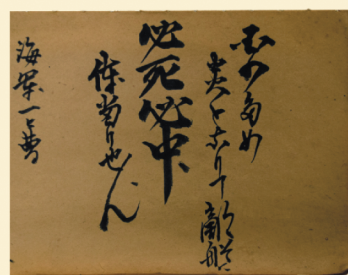
会期：令和7年8月9日（土）～

9月16日（火）

終戦80年、戦争を体験した人たちもだんだんと少なくなってきました。戦争を風化させないために、戦争体験を話す人たちの「声」だけではなく、「文字」からも戦争を知ることが必要です。戦争中、出征兵士と家族の連絡手段は手紙でした。妻を心配し、気遣う手紙や戦死を告げる手紙などがあります。兵士として生き、亡くなった人の想いを辿ります。



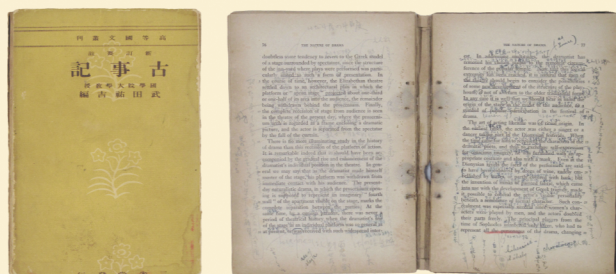
「戦死を伝える手紙」
（南島原市教育委員会蔵）



「特攻隊遺書」
（口之津歴史民俗資料館蔵）



『蒙古襲来絵詞』（複製、西南学院大学図書館蔵）



『古事記』偽装の英語教科書
（西南学院史資料センター蔵）

II 期：教育で辿る

会期：令和7年9月18日（木）～10月26日（日）

戦時中、小学校は「国民学校」と改められ、「皇国民」（天皇に対する絶対の忠誠心）としての教育がなされました。鎌倉時代に起こった蒙古襲来を取り上げ、「神風神話」として皇国史観（軍国主義）と結びつけます。西南学院大学はキリスト教主義学校であったため、「敵性語」や「敵の文化」を積極的に取り入れていると批判がありました。忠君愛国の教育体制に組み込まれていく様子、教育や文化に対して統制が行われた痕跡を辿ります。

有馬キリシタン遺産記念館

Arima Christian Heritage Museum

〒859-2412 長崎県南島原市南有馬町乙1395番地

入館料：一般300円 高校生200円 小・中学生150円（常設展示も観覧可）

お問い合わせ：TEL 0957-85-3217

Mail arimamuseum3217@gmail.com

開館時間：9時～17時

休館日：12月29日～1月3日



記念館 X
（旧 Twitter）



instagram



交通アクセス

